

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

# MCN REPORT

Vol.29  
2016.11



一日みかんだい生



国際看護実習Ⅱ



第2回公開講座



## Contents

ごあいさつ .....	1
トピックス .....	1・2
インタビュー .....	3
大学の出来事 .....	4・5
お知らせ・コラム .....	6

トピックス	<b>連携協力協定病院ご紹介</b> .....	1
	<b>高校生のための看護職キャリアデザイン講座</b> .....	2
シリーズ	<b>教員インタビュー</b> .....	3



大学マスコット  
キャラクター  
「みかんちゃん」



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

# ごあいさつ・トピックス

## 退任のご挨拶

早川 和生

私は、三重県立看護大学の理事長・学長を9月30日付で辞任いたしました。在任中に皆様からいただいたご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、任期途中での辞任に至りましたことを心からお詫び申し上げます。

平成27年4月に本学に赴任し、大学の発展に貢献できるよう微力ながら取り組んできたところです。しかし、ここ1年間ぐらひは、体調がすぐれない日が続いていることから大変無念ではありますが、辞任することとしました。

私が赴任した年は、第二期中期目標・中期計画が新しくスタートする年でした。第一期の6年間では皆様のご労苦により本学を県内トップクラスの大学に育てていただき、第二期は、より飛躍させることが私に課せられた役割であったと思います。1年6カ月という大変短い在任期間ではありましたが、スコットランドのグラスゴー大学と学生の交流協定が締結でき、今年6月には、グラスゴー大学及びマヒドン大学の学生を同時期に迎え入れることができたのは、私にとって大変印象深いものとなりました。

改めて申すまでもなく、三重県立看護大学は、三重県初の看護系大学として、県内の看護職者の育成をはじめ、地域の保健医療の推進に寄与してきました。本学が三重県はもとより全国の看護系大学をリードし、今後も発展し続けることを願ってやみません。最後に、法人役員、教職員、後援会、同窓会、医療機関、そして大学をご支援いただく多くの皆様方に、伝統ある三重県立看護大学を今後も盛り立てていただくよう心からお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。



## 連携協力協定病院ご紹介(日本赤十字社 伊勢赤十字病院)



### 人を大切に思うココロをカタチに

当院は「伊勢神宮」のある伊勢市にあり、100年を越えて地域の医療を支えてきました。

現在では、地域の救命救急・高度急性期医療を担う病院として地域医療における重要な役割を果たしています。また、赤十字病院として災害医療にも対応できる人材づくりを強化しています。

当院では、「人を大切に思うココロをカタチに」思いと実践力が調和する急性期医療・災害医療に対応できる赤十字看護師を目指しています。

急性期の現場は、人のいのちに向き合う厳しさが求められますが、人を大切する思いがカタチになったとき、その「やりがい」も強く感じられるものです。

そのやりがいはやがて自信となり、赤十字看護師としての誇りが生まれます。

卒業生のみなさんは、今、赤十字看護師としての誇りをもって日々の看護に向き合っています。

これからも大学・病院互いの強みを活かし、さらなる看護の質の向上、人材育成をしていきたいと思ひます。



## ● 高校生のための看護職キャリアデザイン講座 ●

### ステップ1 出前授業

出前授業では、県内の高等学校に本学の教員が出向き、「看護の3職種について」「看護職の現状」「将来のキャリアアップ」など、看護職の基礎知識について90分または60分の授業を行います。4月中旬から7月上旬までの期間中、22校632名の高校生の皆さんに受講していただきました。

この講座では、看護職の大変な面や厳しさについて、皆さんにしっかりとお伝えします。参加者からは、「看護職を志す気持ちが高まった」、「看護職についてもっと詳しく知りたいと思った」という感想のほか、「自分に向いているだろうかと不安になった」という声もいただきました。この講座が、進路や将来について考える貴重な機会になったことと思います。

### ステップ2 一日みかんだい生

8月17日(水)、18日(木)、19日(金)、看護系大学への進学をめざす高校生を対象に一日みかんだい生を開催し、3日間で105名の高校生の皆さんにご参加いただきました。

この講座は、オープンキャンパスとは異なり、現役の看護職者による講義やキャリアデザインワークショップなどを通して、看護職者としての将来のキャリア形成についてしっかり学んでいただくための講座です。

当日は、高校も学年も違うグループ単位で1日行動を共にしていただきました。最初は皆さん緊張した面持ちでしたが、1日を通して、同じ看護職をめざす仲間との交流が深まった様子でした。また、各グループに入った4年生の学生スタッフに積極的に話を聞く姿も見られました。看護職をめざす高校生の皆さんには、この講座を通して、看護の素晴らしさだけでなく、厳しさや辛さも知った上で、ご自身の強い意志をもって看護の道に進んでほしいと考えています。



### 保護者と高校教員のための看護職キャリアデザインサポート講座

8月17日(水)、保護者と高校教員のための看護職キャリアデザインサポート講座を開催し、看護系大学をめざす高校生の進路選択の際に適切なサポートの一助としていただけるよう、看護職や県内の保健医療を取り巻く状況、本学の取り組みなどについて説明しました。

参加者からは、「看護職について何も知らなかったので勉強になった」「今日の話子どもに伝えたい。子どもの意見もしっかり聞いて話し合いたいと思った」などの感想をいただきました。

本学では、保護者の方や高校の先生方を対象にしたこのような取り組みを初めて行いましたが、参加して良かったとの声も多く寄せられたことから今後も継続していきたいと考えています。



# インタビュー

## 教員インタビュー

井倉 一政 助教にお伺いしました。

**Q.** 先生は、「思春期メンタルヘルスリテラシーの向上プログラムの開発」の研究をされているとのことですが、どのような取り組みをされているのでしょうか。

**A.** まず、子ども達が成長する過程で、精神疾患を正しく理解し、問題や兆候があった時に予防行動がとれること、これをメンタルヘルスリテラシーと呼んでいます。

その向上のために、行政機関、教育委員会、医療機関の保健師や看護師、精神保健福祉士がチームを組み、中学生を対象に実際に出前授業を行いながら、教育プログラムの開発に取り組んでいます。このチームは、私が四日市市で保健師をしていた時に立ち上がり、中学生以外にも、教職員や保護者を対象とした研修も行っています。



**Q.** なぜ中学生が対象となるのですか。

**A.** 日本では、4人に1人が生涯で精神疾患にかかるという試算があります。これには、統合失調症やうつ病などの他にアルツハイマー型認知症などの加齢による精神疾患も含んでいますが、いずれにしても多い割合です。しかし、このような現状にも関わらず、精神疾患について義務教育で学ぶ機会はあまりありません。保健体育でストレスやこころとからだの健康として少し触れられる程度です。しかし、10代は精神疾患にかかりやすい年齢であり、統合失調症など主な発症年齢は10代後半と言われています。その前兆として現れる症状がおきるのが中学生を含む思春期の子ども達です。特に小学校から中学校に進学する時は、環境の変化も大きいことから、この年代の子どもに目を向け、周りの大人が兆候に気づいたり、子ども自身が気づいて対処できることが望ましい形です。そのために、単にこころの病気の知識を植え付けるのではなく、病気につながるストレスの増大を和らげる対処法を身に付ける、ということを目的に教育を行う必要があります。

**Q.** 今後はどのように研究をすすめられますか？

**A.** これまで、主に中学1年生に焦点を当てて活動してきましたが、1学年だけやっても、なかなか効果が得られません。そのため、学年が上がるにつれ、継続的に行えるプログラムをつくる必要があります。行政機関、教育委員会、医療機関が連携協働して、このような研究や取り組みをしているのは、全国で私達のチームだけです。まずはこの取り組みを広く知ってもらうことも大切だと思っています。これからもいろんな職種の方々と協力しながら、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

壮大な夢になりますが、子どものこころの健康のために、私たちチームが取り組んでいるようなプログラムを、義務教育の仕組みとして取り入れてもらうことが究極の目標です。



# 大学の出来事

## 4年間の学びについて



### 国際看護実習から学んだこと

4年生 片岡 祐樹

国際看護実習Ⅰではタイのマヒドン大学に、Ⅱではスコットランドのグラスゴー大学に行き、各々の看護や保健医療、文化などを学びました。特に印象的だったことは、タイの患者さんのベッドは廊下にまで並んでいたことです。タイの患者さんは治療を受けることを最優先していて、廊下での臥床も仕方ないと考えているそうです。また、スコットランドの産婦人科の病院では、母親は産後24時間程度で退院し、自宅で回復をしていました。これは自宅に訪問して回復状態を見てくれるという制度が整っているためです。患者さんが大切にしていることや国の制度、病院の役割・方針が違っていると、看護師の役割や関わり方も違ってくるということを学びました。日本とそれぞれの国を比較することで、それぞれの長所や短所に気づくことが出来て、国際的な視野を広げることが出来ました。この大学での貴重な経験を軸にして、これからの看護師人生をより良いものにしていきたいです。



### 国際看護実習でたくさんの方々と触れ合えて

4年生 近藤 明穂

国際看護実習Ⅱではグラスゴー大学の学生と共に講義を受講させていただいたり、病院を見学させていただいたりしました。グラスゴーと日本との違いを知ることで、このような良い点があるのだな、もし日本で行ったらどうなるだろうといろいろな考えが浮かびました。講義やグループワークでは学生が活発に発言している姿が見られ、将来チームで働き、多職種で連携を行うために相手の意見を大切にしながら自分の意見も発言できるようになろうと感じました。さまざまな意見や文化に触れ合うことで自分の考えや意見がだんだん明確になっていきました。

グラスゴー大学とマヒドン大学でたくさんの方々と触れ合う機会をいただけたことに感謝し、人々の気持ちを理解し共に考えることのできる看護師になりたいと思います。



### 国際看護実習Ⅱ@グラスゴー大学

平成27年度に英国グラスゴー大学と締結した交換留学協定に基づき、平成28年9月25日(日)～10月10日(月)まで16日間、4年生2名が、グラスゴー大学にて実習を行いました。グラスゴー大学での実習は初めてのことでしたが、講義や関連施設の見学を通じて英国の医療や看護の現状について、日本と比較しながら学ぶことができました。また、グラスゴー大学生からスコティッシュダンスを教わったり、本学学生が折り鶴の折り方を教えたりと交流していく中で、文化の違いについても学びを深めました。

今後も、グラスゴー大学と連携して、双方の学生がより良い学びの機会を得られるように努めてまいります。



# 大学の出来事

## 就職説明会・教育懇談会

9月10日(土)に、就職説明会・教育懇談会を開催しました。当日は、119組の保護者の方にご参加いただきました。

就職説明会では、看護職の就職やキャリア形成、県内の保健医療の現状について説明を行いました。参加された方から、「看護職のライフワークについて聞くことができ、参考になった」とご好評をいただきました。

教育懇談会では、学生の修学状況や大学の取り組みなどについて全体説明を行った後、個別面談を行いました。また、病院就職相談ブースでは、県内8病院から修学資金や就職について、個別にお話をいただきました。今年度は新たに、県内外に関わらず看護職の就職についてご相談いただけるブースを設け、本学の教員から説明を行いました。参加者からは、「子供の様子を知ることができた」、「日頃の不安が解消できて良かった」などの声が聞かれました。皆さまのご意見を参考に、今後も教育内容の充実に向けてまいります。



## 平成28年度 第2回公開講座

10月29日(土)に、三重県、みえ女性スポーツ指導者の会(公益財団法人三重県体育協会)様との共催で、平成28年度第2回公開講座を開催いたしました。当日は200名を超える方にご参加いただき、また、テレビ会議システムを使用して、三重県立総合医療センター様にも講演の様子を配信しました。

「スポーツドクターから伝えたい女性のからだの基礎知識」と題して、産婦人科専門医・医学博士・婦人科スポーツドクターの高尾美穂先生にご講演いただきました。女性のからだの経年変化やそのしくみ、その時々での対処法について分かりやすくお話いただきました。参加者からは、「興味深い内容で、もっと話を聞きたかった」「高尾先生の人柄も明るく、とても分かりやすい講演だった」などのお声をいただき、盛況のうちに終了しました。



## 三重県少子化対策推進県民会議に 本学学生が委員として参加しました



10月16日(日)に三重県少子化対策推進県民会議が開催され、本学4年生の田畑純芽さんが委員として出席しました。会議は、三重県知事を議長に、子育て、医療、教育、企業、市町等の代表者や子育て経験者など総勢35名で構成され、田畑さんも若者代表の一人として会議に参加しました。

会議では、田畑さん自身が助産学実習を通じて感じていた母子への継続的な支援や母親同士の交流、家族への情報提供などの必要性を発言されました。最後に、知事から事業の継続、情報発信の取り組みを深化させると総括され、大学生が一人というプレッシャーの中で見事大役を果たしてくれました。



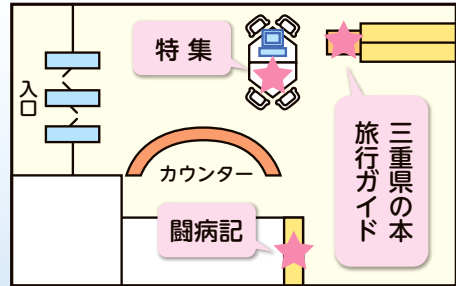


# お知らせ・コラム



## 附属図書館からのお知らせ

附属図書館では、一階カウンター付近に色々なジャンルのコーナーを設置しています。患者本人やその家族などが書いた手記を集めた『闘病記コーナー』、三重県が題材になっている本や三重県出身の作家が書いた本など、三重県にゆかりのある本を集めた『みえぼんコーナー』、スタッフがひとつのテーマに沿って本を集めた『特集コーナー』（過去には「ベストセラー特集」「ネコ特集」などを展示）、国内・国外どちらも充実の『旅行ガイドブックコーナー』のほか、カウンター上には気軽に読めるミニコーナー『みかんちゃんのおすすめ本』もあります。ぜひご来館の上、お気に入りの本を見つけてくださいね。



## MCNレポートへの広告掲載について

本学では、自主財源の確保を図るため、本学が発行する広報誌「MCNレポート」への広告掲載を8月発行号から開始しました。

「MCNレポート」は、本学の行事や取組などを広く知っていただくことを目的に、5月、8月、11月、2月の年4回発行し、在学生の保護者や本学卒業生、医療機関等の皆さまに送付しております。また、店舗等に配架されるフリーペーパーと異なり、対象者の方に郵送等で直接お届けしていることから、目に触れていただく機会も高いものと思われれます。

現在、2月発行号の広告主を募集しています。詳細については、本学ホームページに掲載していますが、申込期限が平成29年1月4日（水）までとなっていますので、是非、広告掲載についてご検討をいただきますようお願いいたします。

### お問い合わせ先

三重県立看護大学 事務局企画広報課  
TEL：059-233-5696 FAX：059-233-5666  
MAIL：kikaku@mcn.ac.jp



## 健康コラム



母性看護学  
永見 桂子 教授

### 知っておきたい！女性のこころとからだ

女性自らが自分のこころとからだに向き合い、女性特有の心身に生じる変化を把握することは充実した人生を送るうえでとても重要です。年齢を重ねると、男女を問わず誰もが身体的にも心理・社会的にも老化を経験します。多くの女性は更年期症状の自覚から老化現象を意識し始めます。高齢化社会となり、女性にとって更年期以降の長い重要な時期をより豊かに過ごすためには、自らが老化を自然なこととして肯定的にとらえることが必要です。

更年期以降の女性は、加齢に伴う性腺機能の衰退により、エストロゲン欠乏に伴う様々な疾患や病態が生じやすくなります。なかでも泌尿生殖器の萎縮症状(子宮下垂・子宮脱などの骨盤内臓器脱、萎縮性膣炎・外陰炎、尿失禁、性交障害など)により、日常生活行動が消極的になったり、生活を前向きに楽しむことができなくなったりしがちです。骨盤底筋群をきたえる運動による予防やエストロゲン製剤による治療を受けるなど、「生きる生」と「女性である性」を十分楽しみながら生活する具体的な方法を考えていくことが大切です。



## 第3回 公開講座のお知らせ

NHK厚生文化事業団 公立大学法人三重県立看護大学共催

**開催日時** 平成29年1月28日(土)

**場 所** 三重県立看護大学 講堂(三重県津市夢が丘 1丁目1番地1)

**プログラム** 講演「人間らしさ喪失の世紀  
—超高齢化、IT化、認知症の波—」

講師 祖父江 逸郎 先生(公益財団法人長寿科学振興財団 理事長)



参加は無料です。

詳細が決まり次第、本学ホームページ  
(<http://www.mcn.ac.jp/>)  
にてお知らせいたします。

《お問い合わせ・お申し込み先》

公立大学法人三重県立看護大学 事務局企画広報課  
TEL: 059-233-5669 (企画広報課直通)  
FAX: 059-233-5666  
E-mail: kikaku@mcn.ac.jp



### 本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



### 学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に  
「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人  
三重県立看護大学

〒514-0116  
三重県津市夢が丘 1丁目1番地 1  
TEL 059-233-5600 (代)  
FAX 059-233-5666  
<http://www.mcn.ac.jp/>



### 広告

## 看護師募集

**身 分** 地方独立行政法人職員

**休 暇** 年次有給休暇、特別休暇(夏季休暇、結婚休暇など)、  
育児休業、部分休業など

中途採用・  
NICU勤務希望者  
特に歓迎します!

病院見学など  
随時受け付けています!

お気軽にお問い合わせください。

TEL: 0594-22-2015(直通)  
担当: 管理部総務課 平田  
e-mail: saiyou@kuwanacmc.or.jp  
URL: <http://www.kuwanacmc.or.jp/>

地方独立行政法人  
桑名市総合医療センター  
Kuwana City Medical Center  
桑名市寿町三丁目11番地



### 広告

私たちは、すべての人に  
寄り添うことを大切にした看護を  
提供します



見学随時受付中  
まずは病院見学  
してみませんか?

三重県厚生連農業協同組合連合  
鈴鹿中央総合病院  
鈴鹿市安塚町山之花1275-53 ☎059-382-1311  
<http://www.miekosei.or.jp/2-sch/>